

## ことばの諸相

責任者・コーディネーター	共通教育センター長、人間科学科・学科長		
担当講座・学科(分野)	共通教育センター		
担当教員	高橋 幸雄 非常勤講師		
対象学年	第1学年	期間	前期
区分	講義	時間数	21時間

### ■ 学習方針（講義概要等）

人間言語の普遍性を認識した上で、個別言語の多様性の境界を捉える。その上で、言語が人間の意識の生成にどのように関与しているのかについて概略を捉える。そのために人間の言語がどのような身体的基盤の上に成立しているのか、社会・文化的な因子を考慮しつつ、意思を伝達・共有するとはどのようなことかについて考察する。

### ■ 一般目標（GIO）

言語をいくつかの構造的な視点から捉えることで個別性の背後に存在する普遍性は明確になる。言語には音韻的、統語（形態）的、意味（概念）的な構造が存在している。それらの構造を精査していくと、個別言語的な多様性は極めて限定され、指定可能であるということが明らかになる。同様に、一見、人間の外に存在しているとも思える社会・文化もまた構造的な存在であり、人間性を反映したものである。

### ■ 到達目標（SBO）

1. 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。
2. 意思、情報の伝達に必要な要素を列举できる。
3. 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。

### ■ 講義日程（クラス1・3学部合同）

【(矢) 西 1-E 講義室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C1	4/11	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	人間の言語体系と動物の伝達体系
C1	4/18	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の創造性、転位性、相互性

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C1	4/25	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	プラトンの問題とオーウェルの問題
C1	5/2	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的性
C1	5/9	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	音節
C1	5/16	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語のリズム
C1	5/23	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	英語の/l/の観察と分析
C1	5/30	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	科学理論の構造
C1	6/6	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	米語の弾音化の観察
C1	6/20	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	米語の弾音化の分析
C1	6/27	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	連結発音と側音、弾音
C1	7/4	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的性の論拠 (置き換え)
C1	7/11	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的性の論拠 (階層性)
C1	8/22	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語と人間

■ 講義日程 (クラス 2・3 学部合同)

【(矢) 西 1-E 講義室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C2	4/13	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	人間の言語体系と動物の伝達体系
C2	4/20	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の創造性、転位性、相互性
C2	4/27	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	プラトンの問題とオーウェルの問題
C2	5/11	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的性
C2	5/18	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	音節
C2	5/25	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語のリズム
C2	6/1	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	英語の/l/の観察と分析
C2	6/8	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	科学理論の構造
C2	6/15	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	米語の弾音化の観察
C2	6/22	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	米語の弾音化の分析

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C2	6/29	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	連結発音と側音、弾音
C2	7/6	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的論拠 (置き換え)
C2	7/13	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語の構造的論拠 (階層性)
C2	8/24	金	2	共通教育センター	高橋非常勤講師	言語と人間

### ■ 教科書・参考書

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	Power Point で資料を提示する。資料は英文を含む。			

### ■ 成績評価方法

出欠及び筆答試験

### ■ 特記事項・その他

1. 講義は医学部、歯学部、薬学部で合同クラスで行う。
2. 学生を2グループに分け、クラス1(C1)は水曜日の1時限目に、クラス2(C2)は金曜日の2時限目に講義を行う。
3. 私語は厳禁とする。講義はスライドで行い、スライドはWebで公開します。

### ■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVDプレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示